

# 2022年 コロナ禍における 全国看護学生アンケート結果 ～中間報告～

全日本民主医療機関連合会 <https://www.min-iren.gr.jp/>  
きらり看護 <https://kirarikango.com/>

2022年7月29日 PRESS Release



全日本民医連

1



## 全日本民主医療機関連合会について

ABOUT US

全日本民主医療機関連合会(民医連 min-iren)は、  
無差別・平等の医療と福祉の実現を目指す民間の医療・介護事業所が加盟する全国組織。(1953年創設)47都道府県に事業所があり、職員数はおよそ8万3千人。看護専門学校は8校〔北海道・秋田・山梨・東京(千葉)・京都・大阪・岡山・福岡〕。

全国で毎年千人を超える看護職員を迎え入れており、学生時代から共に育ちあう為の企画や交流も重視しています。学業をサポートする目的で、加盟事業所の方針や人事政策に沿った独自の奨学金制度も運用しています。

<https://www.min-iren.gr.jp/ikei-gakusei/kangakusei/index.html>

全日本民医連

■ 民医連の組織現勢  
全日本民医連加盟事業所数  
2022年1月現在

区分	事業所数
病院	142
有床診療所	12
無床診療所	474
歯科診療所	78
訪問看護ステーション	234
保険薬局	349
薬剤・診療材料センター	33
看護・介護学校	8
検査センター	2
老人保健施設	51
介護医療院	1
在宅介護支援センター	24
特別養護老人ホーム	37
鍼灸所	3
研究所	2
ヘルパーステーション	51
グループホーム	21
在宅介護福祉関係	212
ケアハウス	11
その他	13
合計	1,758

# 調査目的など

新型コロナウイルス感染症パンデミックは、看護職を目指す学生たちの生活と勉学環境にもより深刻な影響を及ぼしているのではないかと考え、看護学生が置かれている現状を把握するための全国実態調査を2020年、2021年に実施した。今般第7波の中で3度目の調査を行い、7月20日時点での中間集計の結果を報告する。

名称：コロナ禍における全国看護学生アンケート調査

調査目的：コロナ禍における看護学生の実態把握

対象：全国の看護師等学校養成所の学生（看護学生）  
（看護師養成所への調査依頼、SNS発信など）

調査期間：2022年6月～8月末（第一次メット7/20）

調査方法：Web調査（googleフォーム）

◎結果は、特定の個人が識別できないよう<sup>※</sup>に集計・分析した。

## 報告の柱

- I. 経済状況について
- II. 奨学金について
- III. アルバイトについて
- IV. 要望

※比較データとして、2022年・2021年調査を引用した。  
○実施期間  
2020年8月(回答数：1,127名) 2021年9月(回答数：1,347名)  
○調査対象  
47都道府県の看護師等学校養成所の学生（看護学生）

## <集計概要> ※7月20日現在

- 37都道府県**1,012**名の看護学生より回答を得た

	回答者の学校種別 (2022年7月20時点)		
	公立	私立	合計
4年制大学	2.6%	11.4%	14.0%
短期大学	0.2%	0.6%	0.8%
専門学校	21.2%	57.8%	79.0%
五年一貫校	0.5%	0.3%	0.8%

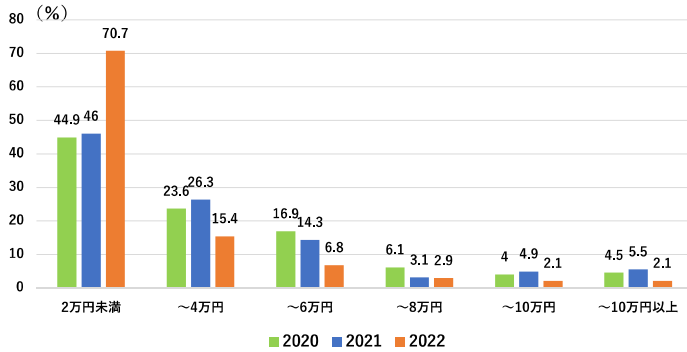
# I 経済状況について

1. 親などからの経済的援助を受けていますか？ (n=1,000)

**援助を受けている学生 56.7%**

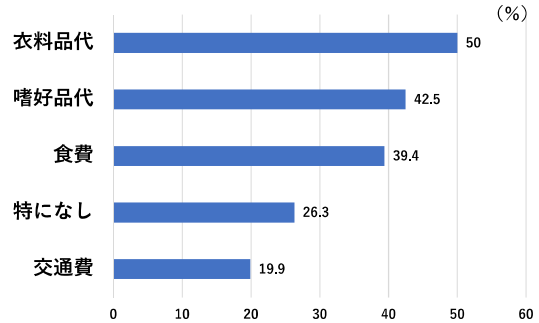
2. 親からの経済的援助の、1か月のおおよその金額はいくらですか？(仕送り・お小遣い等)

2020年 (n=602) 2021年 (n=742) 2022年 (n=518)



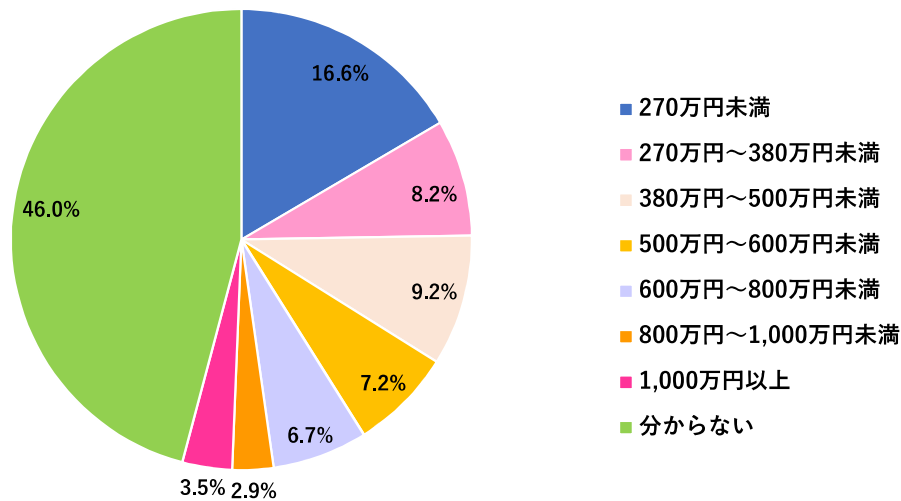
全日本民医連

3. 経済的にゆとりがない方は、何を節約していますか？ (n=960)



4. 世帯の年収を教えてください(自身のアルバイト収入をふくめない)

(n=887)

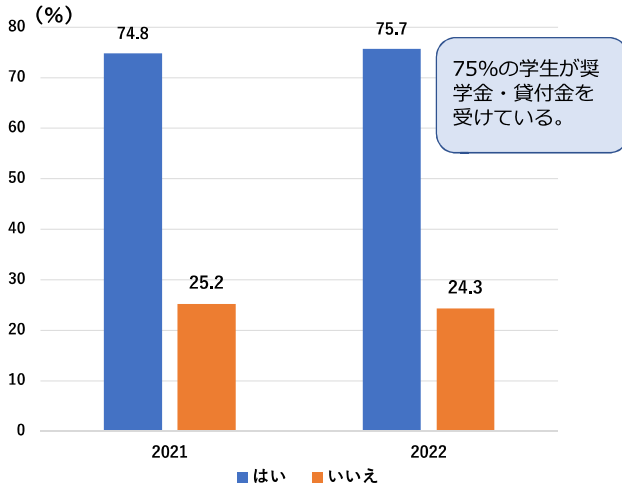


全日本民医連

## Ⅱ 奨学金について

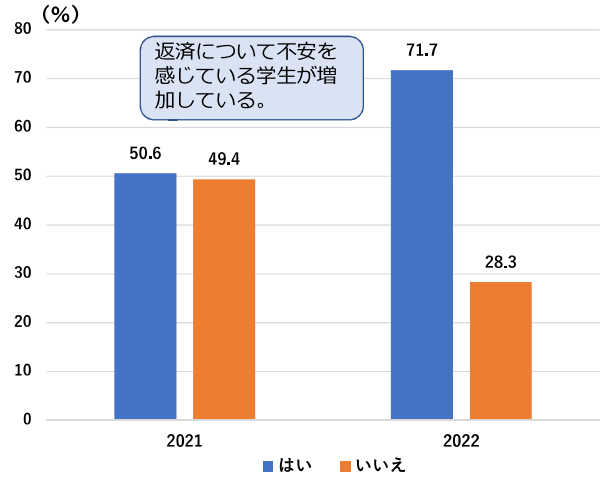
### 1. 奨学金を受けていますか？

2021年(n=1,331) 2022年(n=1,004)



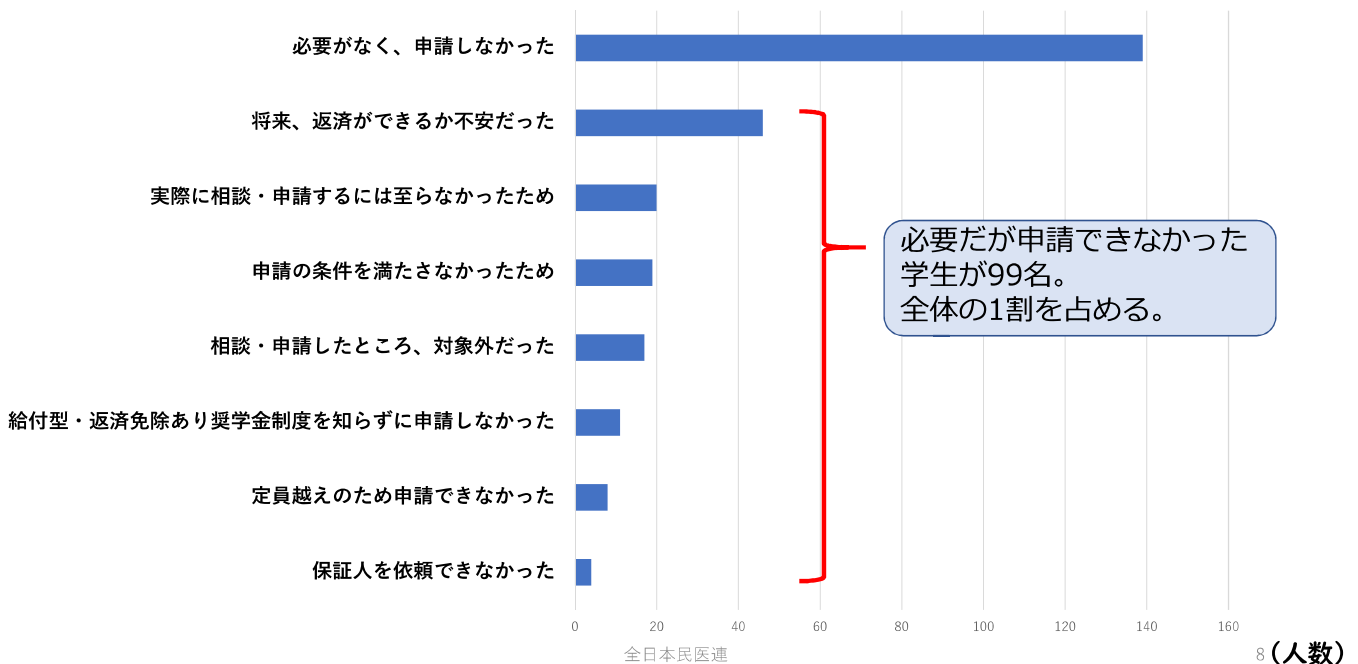
### 2. 奨学金の返済について不安を感じていますか？

2021年(n=969) 2022年(n=739)



全日本民医連

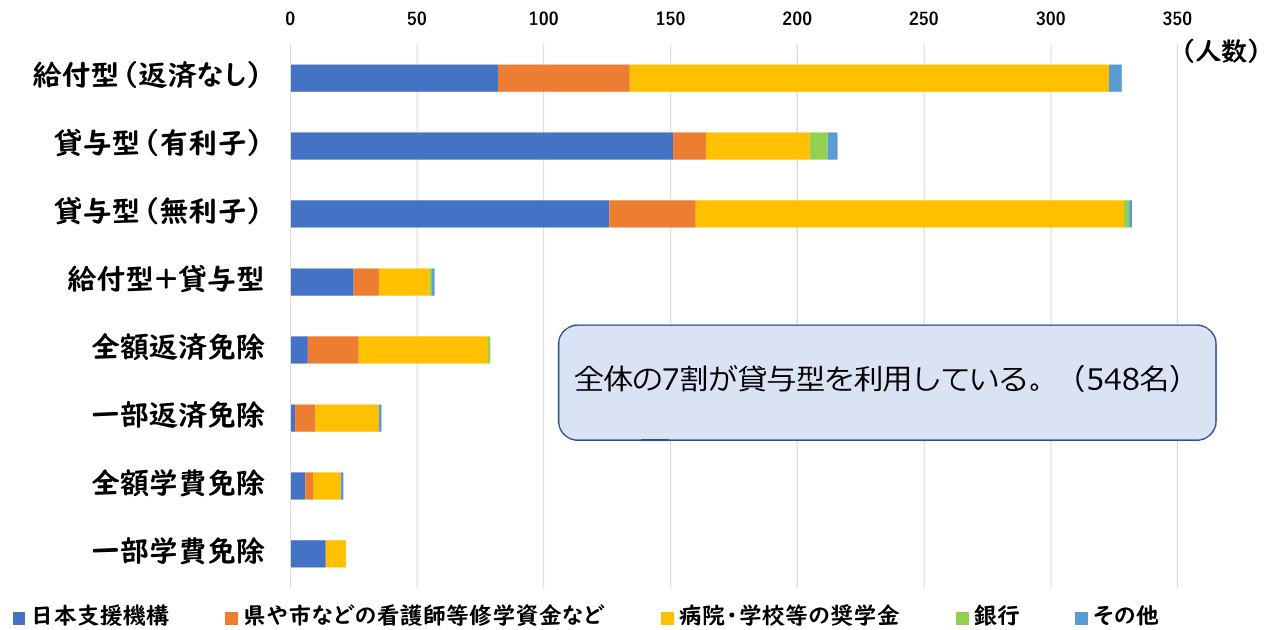
### 3. 奨学金を受けていない理由は何ですか？(複数回答可) (n=238)



全日本民医連

8 (人数)

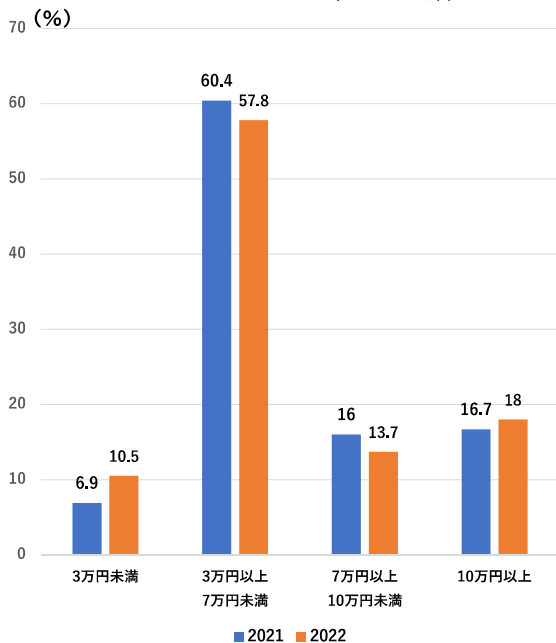
#### 4. 受給している奨学金・貸付金についてお答え下さい (複数回答可) (n=760件)



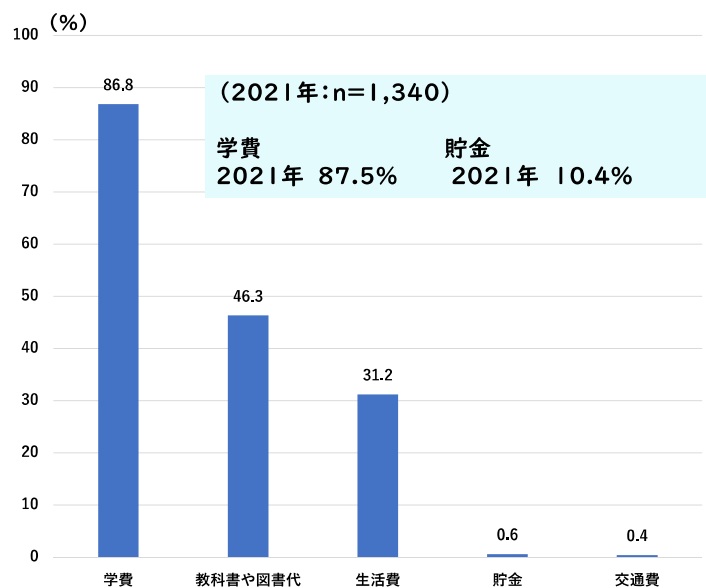
全日本民医連

9

#### 5. 奨学金の受給額(月額)をお答えください。(n=716件)



#### 6. 奨学金の主な用途(複数回答) (n=702件)



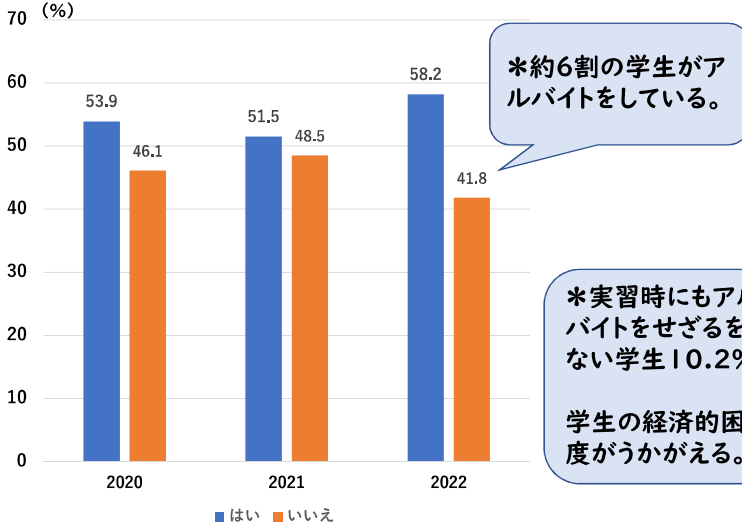
全日本民医連

10

### Ⅲ アルバイトについて

#### 1. アルバイトをしていますか？

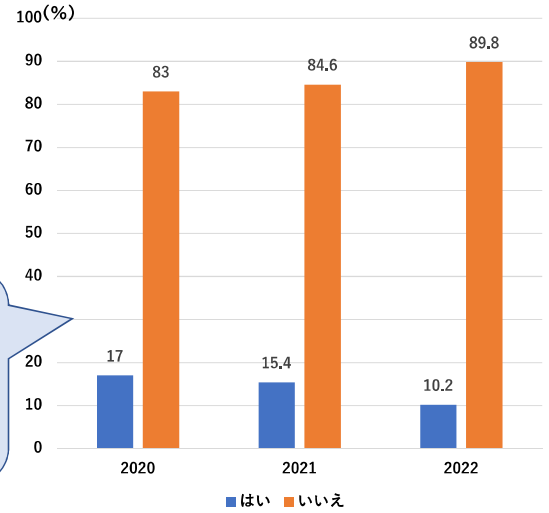
2020年 (n=1,116) 2021年 (n=1,335) 2022年 (n=1,005)



全日本民医連

#### 2. 実習時にアルバイトをしていますか？

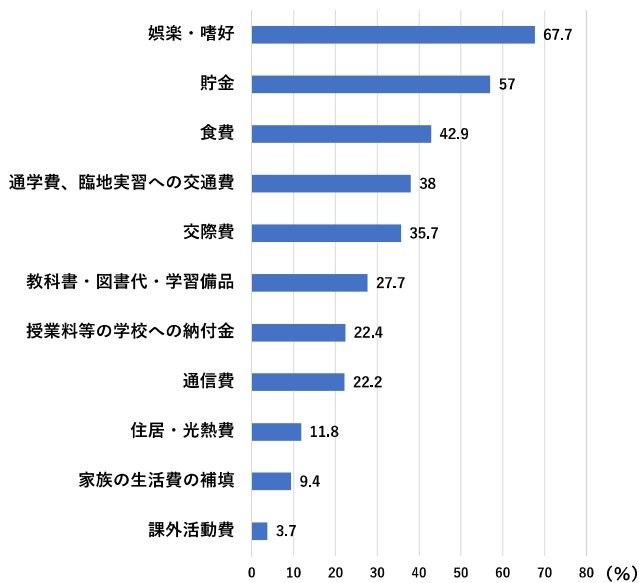
2020年 (n=559) 2021年 (n=681) 2022年 (n=859)



■ はい ■ いいえ

#### 3. アルバイトの目的について (複数回答)

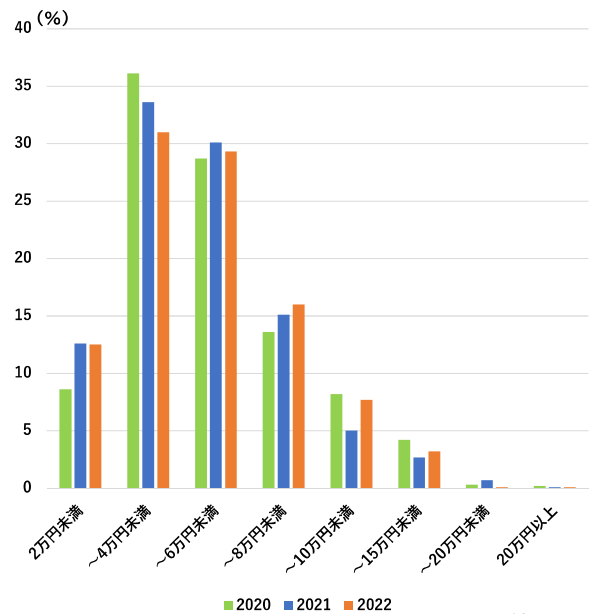
(n=820)



全日本民医連

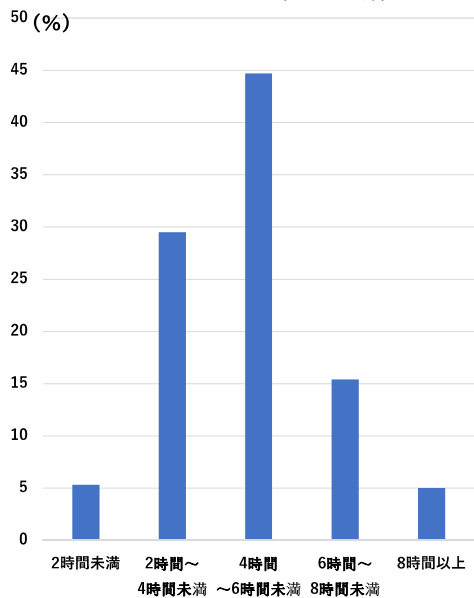
#### 4. アルバイト収入 (月額) はいくらですか？

2020年 (n=595) 2021年 (n=675) 2022年 (n=713)

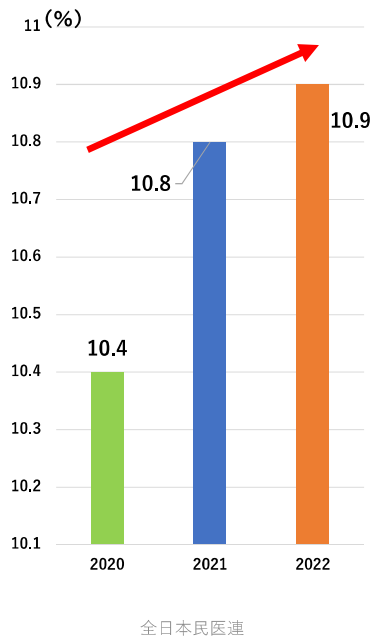


■ 2020 ■ 2021 ■ 2022

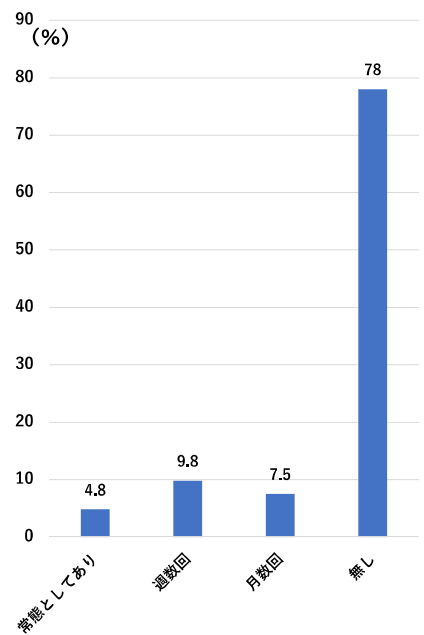
5.一日のおおよその平均アルバイト時間は何時間ですか？ (n=738件)



6.アルバイトの日数について (月平均) (n=729件)

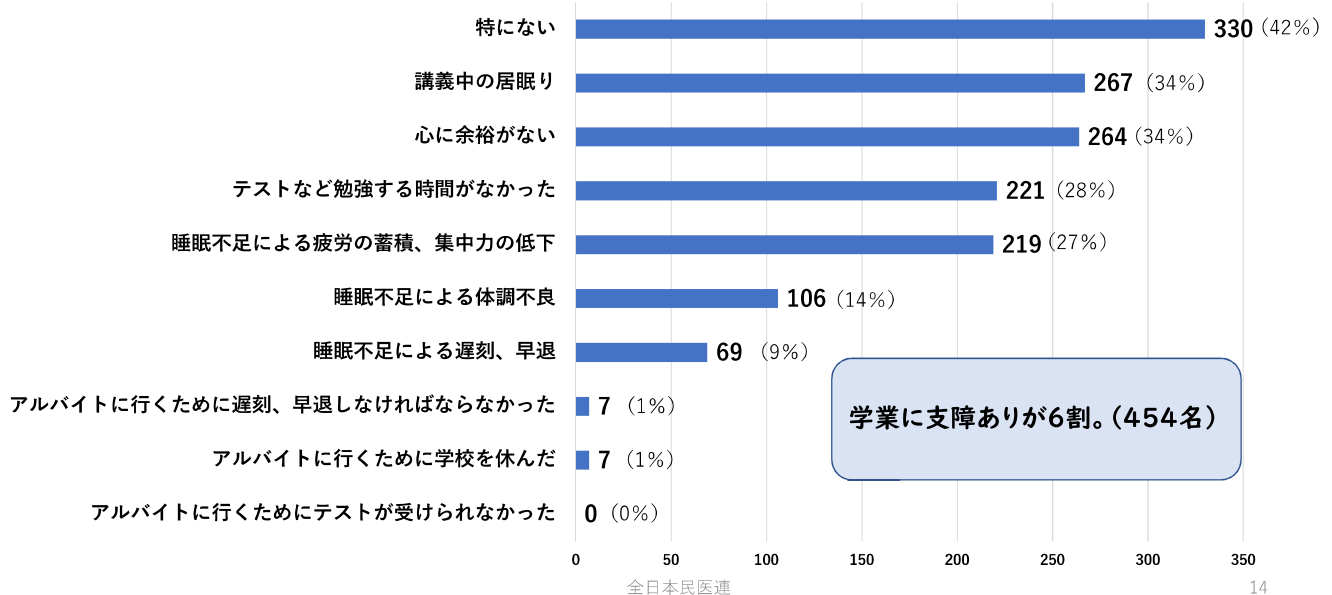


7.深夜時間帯(22時~翌朝5時)のアルバイトはしていますか？



8.アルバイトによって、学業などに支障がありましたか？(複数回答) (n=784件)

※数字は人数、( )は割合。小数点切り上げ



## VI 学生の要望

### ●国や自治体に対して要望したい事はなんですか

※要望が多い上位3つ

(n=883)

①現金支給（緊急給付金など） 651名

②授業料の引き下げ 509名

（養成校への公的助成の増額）

③授業料の減免制度の拡充 326名

全日本民医連

## 調査分析概要

- ①「奨学金」「貸付金」を受けている学生が7割を超え、「受けていない」学生もその内訳を見ると「本当は必要だった」が4割を超えており経済的支援無くしては日本の看護師等養成校では学べない。  
また、返済不安を感じている学生の割合は昨年よりも増加していた。
- ②75%が経済的にゆとりがなく、衣料品を5割、食費は4割が節約と回答している。そのため7割以上がアルバイトをしており、1日平均4時間以上8時間未満が6割、8時間以上が5%、深夜勤務ありは2割で6%が常態化と回答している。ほとんどの看護学生が学業に専念出来ない状態にある。
- ③更に、アルバイトによって学業への支障ありが6割、うち「心に余裕がない」が34%、また体調を崩している学生も少なくなく、看過できない。
- ④コロナパンデミックで更に存在理由が増している看護職を目指す学生が、経済的不安なく学び生活できる環境を早急に整備する必要があると考える。

全日本民医連



## 要請事項

1. 「学生支援緊急給付金」について、今年度の制度の継続を求めます。  
すべての学生を支給対象とすることを求めます。
2. 医師・看護師など医療職の国家試験で、新型コロナウイルス感染となった場合に  
国の責任において追加試験の機会を認め、今から準備対応するよう求めます。  
  
また、移動による感染リスクを減らす上でも国会試験の会場を13都道府県に  
限定せず全都道府県に会場を設置することを求めます。
3. 国の教育予算を増やし、学費無償化、補助金の拡充、給付型奨学金を創設し、  
お金の心配なく誰もが平等に学ぶことができる教育制度への転換を求めます。

全日本民医連

## 全日本民主医療機関連合会

〒113-8465

東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター7階

職員育成部 西村峰子・宮川喜与美

TEL 03-5842-6451 [min-ikusei@min-iren.gr.jp](mailto:min-ikusei@min-iren.gr.jp)

きらり看護 <https://kirarikango.com/>